

ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 57号

前回のハンドアート以来のスクールガッシュを使った授業を新しい学年が始まってから中学一年生のクラスでおこないました。トイレットペーパーの芯をスタンプにしてのペイントです。この日ももちろんアクラの自宅から水を持って行つての取り組みでした。絵の具に水にトレイになる発泡スチロールのテイクアウェイボックス。このテイクアウェイボックスは軽いのですが、割れたりしないようにと特に気をつけなければなりません。水、絵の具、紙は重い。軽いけれど気を遣うのがトレイと絵の具を使う授業は学校に着くまでも、授業が始まってから終わるまで本当に大変なのですが、子どもたちのうれしそうな顔を見せようと、また次回もやろう！！と思う授業なのです。



初めての“絵の具”にみんなとてもうれしそうです。子どもたちには、日本語で“えのぐ”と教えました。とにかく自由に思うままにトイレットペーパーの芯をスタンプしていきました。



集合写真を撮り終えると、さっきまでの青空はいったいどこに？と思える激しいスコール。子どもたちは絵の具で汚れた手や制服を恵みの雨でキャッキョッはしやぎながら洗っていました。しまいには肌着を洗濯する子どもも出現。ガーナの子どもたち、自然と共存していても遅いかなと思えた授業でもありました。

報告日 2019年1月18日 TOSHIO



協賛 ペンてる株式会社様(スクールガッシュ)